

## 研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： ポストペタスケールシステムのための電力マネジメントフレームワークの開発

2. 研究代表者： 近藤 正章（東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授）

3. 中間評価結果

これまでの段階でおおむね計画通りに研究が進捗しており、また計画で想定していなかった課題にも適切に対応し、期待以上の成果をあげている。電力ノブの最適化技術においては成果をジョブ管理ソフトウェアに組み込むなど、計画以上に進捗しているものがあり、学術的な面でもレベルの高い国際会議に論文が採択されるなど、十分かつ期待以上の成果をあげているといえる。国際連携も幅広く行われ、当該分野における我が国の研究開発、成果発信のリーダーシップ維持・発展にも貢献する取り組みである。これから、実用的なワークロードでのネットワークを含むシステム全体での提案フレームワークの定量的な評価が求められる。特に、基盤センターへの評価システムの展開など実用化に向けたより一層の取り組みを推奨する。